

特集**2023年12月6日 関東支部会報告**

飯塚礼子（明星大学，日食情報センター）

1. はじめに

今年度第1回目の関東支部会を2023年12月にWebにて開催したので報告する。休休日より平日夜の数時間を有効に活用しようと考えたことと、新型コロナが第5類感染症に移行したことから、毎週末どこかで天文のイベントや勉強会が開催されており、それらとのバッティングを避けようと試みた。

今回は、「発表会+茶話会」とし、会員・非会員の区別なく参加募集を行った。参加費無料とし、39名の参加申込の内、非会員は8名であった。

2. 開催内容

今回は特別講演に京都大学岡山天文台の戸田博之氏をお迎えし2023年に海外で起こった皆既日食・金環日食についてお話をいただいた。一般発表も3件で行った。

◆開催日：2023年12月6日（水曜日）

21:00~23:00

◆開催場所：Web（Zoom）にて

◆参加人数：39人（申込者数）

3. プログラム**3.1 特別講演**

「皆既・金環2つの日食遠征」

戸田博之（京都大学岡山天文台）

皆既日食・金環日食遠征について述べられた。戸田氏は今年（2023年）、オーストラリアとアメリカにそれぞれ遠征され日食観測をされた。それぞれ広大な大陸での日食現象であるが、観測地への移動は大変大きな問題と日食ファンの私は考える。戸田氏の日食観測の様子は非常に個性のある素敵な内容であっ

た。その魅力は参加された方々に伝わったと感じる。関東支部会特集として寄稿いただいているので、詳しくはそちらをご覧ください。

3.2 一般発表

(1)「観望会の概要」

谷川政敏（川越天文同好会）

親子観望会の様子をご披露いただいた。

(2)「52年前の高校地学教科書」

三品利郎

ご自身が学ばれた時の地学の教科書と現在との違いをお話いただいた。

(3)『天気も宇宙も！まるわかり空の図鑑』について」

武田康男（空の探検家）

一般の市民の方々は、頭上の空を気象と天文と明確に区分しているわけでは無いようだとこのことで、著書について経緯をお話いただいた。

各内容については、関東支部会特集として寄稿をいただいているものもあるので、そちらをご覧ください。

4. おわりに

発表者・参加者・運営スタッフにこの場をかりてお礼と感謝を申し上げたい。関東支部会ではWeb開催が続いたので、次回は対面での開催を考えている。

飯塚 礼子